

「令和7年度 道ぎょれん会秋季取引先懇談会・懇親会」 Jブルークレジットによるカーボン・オフセットの取組について

北海道漁業協同組合連合会（本所：北海道札幌市、代表理事長：阿部国雄、以下北海道ぎょれん）は、生物多様性の保全と持続可能な海づくりを目指し、Jブルークレジットの活用により、お取引様との懇談会・懇親会（以下道ぎょれん会 運営者・参加者4会場合計380名で推算8月25日東北地区、26日東京地区、28日大阪地区、29日九州地区にて開催）によって排出されるCO₂を全量オフセットいたします。

道ぎょれん会開催による環境負荷を把握・開示し、削減努力を行うとともに、環境を守っていくことが海を生業とする我々の使命です。これからも、皆さまとともに持続可能な海づくりをすすめてまいります。

北海道
ぎょれん

「令和7年度 道ぎょれん会秋季取引先懇談会・懇親会」 - Jブルークレジット®によるカーボン・オフセットの取組について -

北海道ぎょれんは、生物多様性の保全と持続可能な海づくりを目指し、Jブルークレジット®によるカーボン・オフセットを実施しました。

Jブルークレジット®とは

海洋生物の作用によって、大気中から海中へ吸収されたCO₂由来の炭素(=ブルーカーボン)に対し、ジャパンブルーエコノミー技術研究組合が認証・発行・管理する独自のカーボン・クレジットのことです。

JBE
Japan Blue Economy association

ブルーカーボンについて

海底に堆積した炭素は分解されにくく、数千年間保存されるため、空気中から安定的にCO₂を除外・保持します。

特に、浅い海域(海洋全体の<1%)の海底で貯留されるブルーカーボンは、海洋全体の約80%を占めます。

令和6年度までに日本各地の自治体・漁業者により46のプロジェクトが認定され、ブルークレジットが創出されています。

クレジット制度活用によるメリット

【創出者】

- ◆ 新たな資金源の確保
- ◆ 持続可能な漁業活動
- ◆ 生物多様性の保護
- ◆ 環境問題への意識醸成(地域住民)

創出者(漁業者など)

【活用者】

- ◆ 海洋環境改善活動の支援
- ◆ 気候変動対策への貢献
- ◆ 生物多様性の保護
- ◆ 環境問題への意識醸成(社員・消費者)

活用者(企業など)

創出者と活用者の連携によって持続可能な海づくりを目指します

北海道
ぎょれん

各会場ごとの排出量及び合計排出量の内訳について

地区名	開催規模(人数)	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)
仙台	70	3.6
東京	200	14.8
大阪	60	5.3
福岡	50	4.1
合計	380	27.8

4会場の合計排出量は27.8トン、参加者1人あたりの排出量は73.2kg-CO₂となりました。

また、合計排出量の内訳として、「会場設営・運営」によるものが全体の約55%、次いで、航空機・自家用車・鉄道による移動が約32%となっています。

【CO₂排出量内訳】

排出源	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)
1. 運営者・参加者の移動	8.75
内訳	
航空機	6.23
自家用車	1.36
鉄道	1.16
2. 運営者・参加者の宿泊	3.30
3. 会場の電力使用	0.05
4. 会場の水道使用	0.04
5. 紙(配布資料)の使用	0.12
6. 廃棄物処理	0.18
内訳	
紙	0.05
食物残渣	0.08
廃プラスチック	0.05
7. 会場設営および運営	15.31
合計	27.75

※会場の電力・水道・紙の使用・廃棄物処理の合計 約1.3%

取り組みへの思いについて

北海道ぎょれんは、道産昆布の養殖に係る取り組みから創出されたJブルークレジット®を活用し、今回の秋季ぎょれん会開催によって排出されたCO₂を全量オフセットしました。今後も、各種会議の開催に伴う環境負荷を把握・開示し、削減努力を行うとともに、漁場の保全活動などから創出されたブルークレジットで排出されるCO₂をオフセットすることで、豊かな海づくりを支援していきます。

※ブルークレジット制度の詳細につきましては、右のQRコードからご覧ください。
(ジャパンブルーエコノミー技術研究組合HP)

◆ 本件に関するお問い合わせ先

北海道漁業協同組合連合会 総務企画部（担当：高木、斉藤、安酸）

TEL 011-281-8560（平日8：30 ～ 17：00）